

平成30年度日本小児外科学会
第1回臨時理事会議事録

日 時：平成30年8月23日（木） 16：00～17：00

第1会場：京都府立医科大学小児外科教授室

第2会場：大阪大学東京オフィス

出席者：越永従道（理事長）、田尻達郎（副理事長）、八木 實（理事・会長）、山高篤行（理事・副会長）、奥山宏臣、廣部誠一、臼井規朗、金森 豊、野田卓男（以上理事）、猪股裕紀洋、仁尾正記（以上監事）、黒田達夫（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、松藤 凡（第34回秋季シンポジウム会長）、米田光宏（施設認定委員会委員長）、小野 滋（専門医認定委員会委員長）、仁田尾慶太（事務局）

欠席者：浦尾正彦（財務会計補佐）、橋詰直樹（庶務委員補佐）、古村 眞（専門医制度庶務委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第1回臨時理事会の議事録署名人は、田尻達郎副理事長、廣部誠一理事とした。
2. 平成30年度第2回定例理事会議事録につき、事前配信された内容について確認され、修正点等あれば1週間を目途に事務局に連絡することとした。
3. 審議事項
 - 1) 法人格変更パブリックコメントの回答について（越永理事長）

越永理事長より配布資料に基づき、事前に役員に回覧していた一般社団法人定款（案）及び一般社団法人定款施行細則（案）のパブリックコメントの回答案が再度確認され、「生物学などの科学を専門とする医学研究者」の箇所を「生命科学などの科学を専門とする医学研究者」に修正を行うこととし、承認された。ホームページ上でパブリックコメントに対する回答を掲載し、パブリックコメントをいただいた方にも個別に回答することとした。
 - 2) 新専門医制度について（米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長）

米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長より配布資料に基づき、サブスペシヤルティ領域の専門研修カリキュラム整備基準について確認がされ、以下の点が承認された。なお、8月28日にサブスペシヤルティ領域の会合が設けられているため、そこにまずは提出し、他のサブスペシヤルティ領域の学会の整備基準も確認の上、最終版を9月27日の理事会で承認をした上で、専門医機構に提出することとした。

 - ・専門医の申請条件として、原著論文でも症例報告でも構わないが、査読がされている論文1編（筆頭著者）は必須とした。
 - ・日本小児外科学会雑誌とPediatric Surgery Internationalの論文発表の単位数は同じ

20単位とした。

・研究発表の「PSJMやそのほかの研究会は認めない」の箇所は専門医機構には伝わらないと思われるため、削除した。

・海外の小児外科関連学会として例に上げていた、PAPS、AAPS、BAPS、APSAについても同じく専門医機構には伝わらないと思われるため、削除した。

・施設認定に関する基準については大きな変更点は無く、「専門研修医1人あたりの、専門研修施設群のNCD小児外科領域登録数は、1年間で100例以上が望ましい。」の箇所は、専門医機構から指摘が入るようであれば数字を見直すこととした。なお、数字に関しては過去のデータを確認して余裕があるように算出されていると説明がされた。

3) その他

(1) WebEx 使用規定について (藤野庶務委員長)

藤野庶務委員長より資料に基づき、WebExに係るパスワードを変更したと報告があり、承認された。また、WebExの予約方法はGoogleカレンダーを使用しているが、使用者が全国からアクセスされると不正アクセスとみなされ、パスワード変更を余儀なくされ運用が煩雑になっている現状が報告された。予約方法を直接WebEx側で行うことを各委員会委員長と相談の上、次回理事会で運用方法の変更を提案することとした。

(2) 第34回秋季シンポジウムについて (松藤秋季シンポジウム会長)

松藤秋季シンポジウム会長より資料に基づき、第34回秋季シンポジウムの準備状況について報告され、承認された。

(3) 第56回学術集会について (八木会長)

八木会長より、第56回の会告原稿の締め切りが今月末に設定されているため、内容についてはメール審議にて確認したいと提案があり、メール審議にて確認することとした。

4) 次回定例理事会日程の確認 (越永理事長)

次回理事会は平成30年9月27日(木) 11:00~16:00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 _____

副理事長 _____

理事 _____